

馬主だより

第97号

平成31年1月25日

発行 (一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆“感情”のまま行動するより“冷静”になり解決への道を開く！！

▼世界第5位の経済力を持つ英国がEU離脱案を巡り迷走しています。先週、英下院がメイ首相と欧州連合(EU)が合意したEU離脱案を否決。3月末の離脱予定日に向けて、「合意なき離脱」という最悪のシナリオも危惧。突入すれば一夜にして関税と通関業務が生じ、経済の大混乱が予想される。▼英国の日本企業は1000社以上。その影響は少なくない。▼国民投票の結果、経済的な損失を覚悟の上でEU離脱という「自傷行為」に至った事実は覆らない。世界への警鐘としてしっかりと受け止めるべき。▼その上で何ができるのか、世論は未だ残留派と離脱派に割れている。▼合意なき離脱のほか、離脱日の延期や離脱の一方的断念、再度の国民投票実施など、さまざまな選択肢が取りざたされているが、英国の行きつく先は？世界への影響は？▼「初志貫徹」一度決めた事を最後までやり遂げることは己を律する哲学だが、一方で決めたからと言って多くが望まない事にいつまでもとらわれ続けるのは周りをも巻き込み不幸を呼び込むだけ。▼人間の内部の奥深くに存在する感情の力によって支配されたまま行動するよりも一旦冷静になって考え直すべきであり、そうすることで必ず解決できる道が開かれる。深い喜びもまたそこから生まれるのではないのでしょうか！！

平成30年度 ばんえい競馬 発売成績 (累計)

開催125日間

帯広市ばんえい振興室資料提供

平成31年1月21日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成30年度			平成29年度		対 比		
	日数	発 売 額	予 算 額	日数	発 売 額	予 算	前 年	
帯広競馬場	125	1,079,509,200	1,006,197,100	125	1,087,954,100	107.29%	99.22%	
直 営 場 外	旭川北彩都	125	497,754,000	437,076,300	125	507,220,200	113.88%	98.13%
	ミトスポット北見	125	441,154,000	335,857,400	125	372,855,700	131.35%	118.32%
	ハロンス岩見沢	125	161,411,500	177,313,400	125	198,329,500	91.03%	81.39%
	ハロンス釧路	125	75,955,300	73,518,700	125	81,572,500	103.31%	93.11%
	ハロンス名寄	125	91,892,700	78,822,200	125	88,209,700	116.58%	104.18%
	アプスポット網走	125	77,774,600	52,009,600	125	57,349,600	149.54%	135.61%
	琴似駅前	125	111,707,600	101,875,800	125	113,613,300	109.65%	98.32%
イルムふかがわ	125	69,438,800	67,538,500	125	75,021,500	102.81%	92.56%	
電 話 投 票	オッズパーク	125	4,931,547,100	4,154,781,100	125	4,515,985,500	118.70%	109.20%
	OP(七重勝)	125	18,082,500	80,600,000	125	26,325,200	88.75%	68.69%
	OP(五重勝)	125	53,451,800		125	69,018,400		77.45%
	競馬モル	125	4,864,306,000	4,444,125,300	125	4,608,053,200	109.45%	105.56%
	SPAT4	125	5,965,705,400	5,658,926,100	125	4,928,653,500	105.42%	121.04%
広域場間場外	—	1,256,806,600	1,143,007,200	—	1,247,850,100	109.96%	100.72%	
場外・電投計	—	18,616,987,900	16,805,451,600	—	16,890,057,900	110.78%	110.22%	
合 計	125	19,696,497,100	17,811,648,700	125	17,978,012,000	110.58%	109.56%	
1日平均		157,571,977	142,493,190		143,824,096	110.58%	109.56%	

平成30年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第22回3日目まで125日間)

平成29年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第22回4日目まで125日間)

会議等の様子

○ 平成 30 年度第 8 回執行役員会 第 5 回理事会を開催！！

～ 就業規程の見直し ブロック懇談会開催など懸案事項を検討 ～

平成 31 年 1 月 12 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 30 年度第 8 回執行役員会及び第 5 回理事会を開催しました。役員会では、競走馬弔慰金の査定は、今回、対象馬一頭について審議。原案のとおり承認されました。次に獣医師の意向確認については、十勝ばんえいクリニックから当協会会員宛てに通知された内容に基づき報告。また、第 5 回理事会に先立ち議事の意見調整を図りました。

第 5 回理事会においては、個人情報取扱いなど第 1 号から第 5 号までの報告事項について事務局より報告。次に議案の役員選任規程一部改正案については、今一度、執行役員で改正案を検討し直すことになりました。

また、協議案では、働き方改革に伴う就業規程等の見直し検討については、今後、具体的に規程改正に向け進めて行くことで承認されました。次年度ばんえい競馬に関する陳情、意見、提言等については、平成 31 年度の報償費基準等、理事会での意見を取り纏め、後日、帯広市に陳情することになりました。次に平成 30 年度ブロック懇談会の日程調整及び懇談事項について協議、2 月中旬以降 3 月中旬までの間で各ブロックにおいて開会することとなり、今後、日程や会場等詳細について調整し開催の準備を進めることとなります。

【第 8 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 診療所獣医師の意向確認
- (3) 平成 30 年度第 5 回理事会議案について

【馬弔慰金支給対象馬】 1 頭 550,000 円

内 訳

(単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ニューイチオク	5	岩 渕 昭 弘	業務中	550,000

【第 5 回理事会議事】

- | | | |
|------|----------|-----------------------------------|
| 日程 1 | 報告第 1 号 | 理事会等の議事運営について |
| | 報告第 2 号 | 競走馬弔慰金給付額の決定について
正会員の入会申込みについて |
| 日程 2 | 報告第 3 号 | 獣医師の意向確認 |
| 日程 3 | 報告第 4 号 | 個人情報の取扱いについて |
| | 報告第 5 号 | 平成 30 年度内国産農用種雄馬の購買決定 |
| 日程 4 | 議案第 1 号 | 役員選任規程の一部改正(案)について |
| 日程 5 | 協議案第 1 号 | 働き方改革に伴う就業規程等の見直し検討について |
| 日程 6 | 協議案第 2 号 | 次年度ばんえい競馬に関する陳情、意見、提言等について |
| 日程 7 | 協議案第 3 号 | 平成 30 年度ブロック懇談会の日程調整及び懇談事項について |

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
H30-12	小 森 うた子	北18- 7	道東ブロック

○ 第 9 回執行役員会開催！！

～ 診療所の新たな支援内容 役員選任規程改正案を検討 ～

平成 31 年 1 月 17 日(木)当協会会議室において、平成 30 年度第 9 回執行役員会を開催。診療所の懸案事項について最終的な解決を図るため、診療所の意向を尊重しつつ、当協会としての新たな支援内容も含め検討をいたしました。

また、役員選任規程の改正案見直しについては、再度、執行役員において協議を致しましたが、更に検討を重ねる必要があるとの見解で、今後細部に亘り見直しを図り慎重審議を踏まえ、最終的には理事会において改めて提案することになりました。

【第 9 回執行役員会議事】

- (1) 診療所の意向及び新たな支援内容の検討について
- (2) 診療所、帯広市、当協会三者協議の日程及び出席者
- (3) 役員選任規程改正案見直し検討
- (4) その他 ① 帯広市陳情日程について

情報・ご案内

○ “岡田定一調教師 12 月 21 日(金) 早朝に急逝される”

ばんえい十勝の調教師として活躍されておりました岡田定一(おかだ さだかず)調教師が、2018 年 12 月 21 日(金)の早朝、急逝されました。享年 75 でした。

岡田調教師は、これまで「帯広記念(1990 年)」「イレネー記念(2000 年)」「天馬賞(2014 年)」「ばんえいダービー(2017 年)」など、通算成績は、15,979 戦 1,781 勝(内重賞競走 27 勝)を挙げられています。

ここに故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

○ “鈴木恵介騎手 デビューから 20 年で通算 2,500 勝を達成！！”

～ ばんえい史上 6 人目 現役では 3 人目 ～

鈴木恵介騎手(42 歳)は、2018 年 12 月 23 日(祝日)第 5 競走でジェイエース号に騎乗して優勝し、デビューから僅か 20 年で通算 2,500 勝を達成しました。

2,500 勝達成は、ばんえい史上 6 人目、現役では 3 人目となります。

鈴木騎手は、11 年に年間最多勝 246 勝を挙げ、10 年連続で最多勝利を記録しています。通算成績は、1 万 5,111 戦 2,500 勝(12 月 23 日第 5R 終了時点)、うち重賞は、73 勝となっています。今後、益々のご活躍を期待いたします！！

鈴木恵介(すずきけいすけ) 騎手プロフィール ※2018 年 12 月 23 日(祝・日)第 5R 終了時点	
生年月日	1976 年 10 月 7 日(42 歳)
出身地	北海道森町
本年度成績	641 戦 130 勝
通算成績	15,111 戦 2,500 勝(うち重賞 73 勝)
初騎乗	1998 年 1 月 10 日(騎乗馬:ブラックワン号)

初勝利	1998年1月19日(騎乗馬:ニホンバレ号)
区切り	1,000勝 2010年11月1日(騎乗馬:スーパートップヒメ号) 2,000勝 2016年1月25日(騎乗馬:サカノチサト号)
主な重賞優勝 (過去5年の BG1優勝)	2014年 ばんえいオークス キサラキク号 2015年 天馬賞 オレノココロ号、イレネー記念 センゴクエース号、 ばんえいダービー センゴクエース号 2016年 帯広記念 オレノココロ号、天馬賞 キサラキク号、 ばんえいグランプリ オレノココロ号 2017年 帯広記念 オレノココロ号、天馬賞 センゴクエース号、 イレネー記念 ホクシウムゲン号、ばんえい記念 オレノココロ号 2018年 ばんえい記念 オレノココロ号、ばんえいグランプリ オレノココロ号、 ばんえいオークス ミスタカシマ号

○ 12月29日の発売額 帯広市単独開催後 初の“3億円超”！！

～ ネット発売が全体を押し上げ1日当たりの発売最高額を更新 ～

昨年末の最終開催日でありました12月29日(土)の発売額は3億4515万8800円に達しました。これは、帯広市単独開催後 1日当たりの発売最高額を更新する結果になり、初の3億円超えとなりました。これまでの最高額は、一昨年の12月29日の2億7526万600円でした。

この日は、インターネットの発売だけでほぼ3億円を売り上げました。

○ 正月開催 過去最高額 2年連続“10億円”の大台を突破！！

～ 入場者数大幅増 前年より24.8%増の1万2109人 ～

今年の正月開催(1～5日)は、例年同様5日間連続開催が行われ、発売額は10億4814万円(前年比0.4%増)となり、昨年が続いて10億円の大台を突破しました。これは過去5年間において最高額となりました。

元日から5日までの正月連続開催は2015年から実施。曜日の並びが異なるため単純に比較はできないが、15年5億8681万円、16年7億4642万円、17年8億6829万円、18年10億4441万円と推移し、今年の売上げも前年を上回る結果となりました。

1日当たりの発売額は2日と4日がともに2億円超を売り上げました。

今年は5日間とも比較的穏やかな天候に恵まれ、帯広競馬場の入場者数は前年比24.8%増の1万2109人と大幅に増加しました。また、帯広競馬場の発売額も8275万円と前年より12.7%も伸びる結果となりました。

○ 平成30年度日本馬事協会 内国産農用種雄馬の購買決定！！

～ ニシキエーカン号 配置先は根室生産連 種馬として活躍期待 ～

平成31年1月10日(木)帯広競馬場に於いて、公益社団法人日本馬事協会が購買し生産地に貸付け配置される「平成30年度内国産農用種雄馬」の最終選考が行われ、購買馬が決定しました。

当日は、事前に選抜されたニシキエーカン号(10歳)1頭について最終検査を行ない、その後、当該馬の馬主と日本馬事協会の間で売買契約が締結されました。購買馬の配置先団体等については、次のとおりです。

なお、購買馬の引渡しは、平成 31 年 2 月 12 日(火)午前 10 時より帯広競馬場において行われる予定です。

【平成 30 年度 公益社団法人日本馬事協会購買馬】

購買馬名	年齢	クラス (万円未満)	馬主	配置先団体
ニシキエーカン	10	450	近藤 勝雄	根室生産農業協同組合連合会

レース情報

○ 重賞競走の結果

月日	重賞名	馬名	馬主	調教師
12月23日	第47回 ばんえいダービー	アアモンドグンシン	下内美繪子	小林 長吉
12月29日	第20回 ヤングチャンピオンシップ	アオノブラック	青山 修	金田 勇
1月2日	第41回 帯広記念	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人
1月3日	第12回 天馬賞	メジロゴーリキ	広瀬 豪	松井 浩文

優勝おめでとうございます！！

◆ 第47回ばんえいダービー（3歳オープン）

12月23日(祝日)は重賞・ばんえいダービー（3歳オープン）が行われ、単勝2番人気のアアモンドグンシンが優勝。ばんえい大賞典と合わせて3歳二冠を達成しました。

単勝1番人気は紅一点のミスタカシマで1.9倍となりましたが、アアモンドグンシンも僅差の2番人気。以下3番人気のコウシュハレガシーが14.8倍で、完全に一騎打ちの戦前予想となりました。

馬場水分は1.3%でスタート。各馬、勢いよく第1障害を突破しますが、そこからは様子をうかがいながら進みます。キタノユウジロウ、アアモンドグンシン、オレワチャンピオン、ミスタカシマといった実力馬が先団を形成し、これにコウシュハレガシーも絡む展開。一進一退の攻防を繰り返しながら、第2障害を迎えました。

ひと呼吸置いて、最初に仕掛けたのはミスタカシマ。抜群のかかりを見せて勢いよく突破しますが、これと同等の登坂を見せたのがアアモンドグンシン。人気の2頭が早くも一騎打ちに持ち込みそうな空気となりましたが、3番手でキタノユウジロウ、続く4番手でオレワチャンピオンとコウシュハレガシーが並んでクリアし、勢いよく2頭を追いかけます。

先頭の2頭のうち、力強く脚を伸ばしたのはアアモンドグンシン。対するミスタカシマは置かれ加減となり、残り30メートルを迎える前に後退。勝負圏内から脱落してしまいました。代わって2番手に浮上したのがキタノユウジロウで、コウシュハレガシーも3番手から懸命に脚を伸ばします。ただ、先頭に行くアアモンドグンシンの脚いろは快調で、止まる気配も皆無。結局、そのままアアモンドグンシンが先頭で荷物を運び切り、第47代ばんえいダービー馬に

君臨しました。4秒3差の2着にキタノユウジロウで、さらに5秒6差の3着にコウシュハラガシー。ミスタカシマは4着に流れ込む結果となりました。

ばんえい菊花賞こそミスタカシマの後塵を拝したものの、頂上決戦でリベンジを果たし、二冠を達成したアアモンドグンシン。相手をミスタカシマ1頭に絞ったような狙い撃ちで、力づくで勝利をもぎ取りました。強気なレースぶりで押し切ったことから、持ち前の能力は相当。ペースと重量に慣れさえすれば、古馬相手の重賞でも互角の立ち回りができそうです。

2着のキタノユウジロウは、イレネー記念(2着)以来となる重賞での連対。ばんえい菊花賞4着からも、この世代では力量上位の存在といえるでしょう。強敵2頭を相手に真っ向勝負を挑んでの結果だけに、2着でも胸を張れる結果。今後の活躍を期待したいと思います。

コウシュハラガシーは障害後もしっかり歩き続けましたが、届かず3着。結果的に3歳三冠はすべて3着となりましたが、堅実なレース運びには光るものがありました。馬体的にもさらに成長する可能性が感じられ、より力強さが出てくればタイトル奪取のチャンスも十分です。

◆ 第20回ヤングチャンピオンシップ(2歳産駒特別選抜)

12月29日(土)は重賞・ヤングチャンピオンシップ(2歳、産地選抜)が行われ、単勝3番人気の釧路産、アオノブラックが優勝。ナナカマド賞3着の雪辱を果たし、重賞初制覇を成し遂げました。

人気の中心は、デビューから【6・3・1・0】と抜群の安定感を誇るギンノダイヤモンド。ナナカマド賞2着からも地力は確かで、目下2連勝中と勢いに乗っているのも魅力。対してナナカマド賞を勝ったメモロボブサップも安定感のあるレースを見せており、この2頭による一騎打ちムード。これにナナカマド賞3着のアオノブラックが割って入れるのか、注目が集まりました。

馬場水分1.2%をものともせず、各馬が勢いよく第1障害を突破しますが、その後は思い思いに脚を止める展開。インビクタが軽快に飛ばし、エースモリウチが2番手。メモロボブサップ、ギンノダイヤモンド、アオノブラックといった人気どころは、その後ろから。若干速めの展開で第2障害を迎えました。

全馬がそろい切らないうちに、インビクタが登坂を開始し、エースモリウチもこれに続きます。上位人気勢も次々と仕掛けるなか、先頭クリアはエースモリウチ。半馬身ほどの差でインビクタが続き、同じような差でギンノダイヤモンドも突破。以下アオノブラック、メモロボブサップ、ダイリンファイターの順で、最後の平坦路に向かいました。

このなかで際立つ脚いろを見せたのはアオノブラックとメモロボブサップ。みるみるうちにエースモリウチとギンノダイヤモンドに追いつき、横一線で残り20メートルを通過します。ここからもう一段の加速をしたのが、アオノブラックとギンノダイヤモンド。並んだまま最後の根性比べを演じた結果、わずかに0秒4差だけ、アオノブラックが先着し、初のタイトルを手に入れました。2着から5秒1差の3着にはメモロボブサップが入り、人気サイドでの決着となりました。

やや離れた3番手評価だったアオノブラックでしたが、しぶとい末脚を見せ、世代上位の力を証明。父のケンジュオーは重賞未出走、母のハリノメイチャンも重賞に5度挑戦し、ばんえいプリンセス賞の6着が最高だっただけに、2歳の時点で早くも父母を越える結果を出しました。実戦では初のコンビとなった菊池一樹騎手の落ち着いた騎乗も光った一戦。ともに今後の飛躍が期待できそうです。

2着のギンノダイヤモンドは、ナナカマド賞に続く2着。ただ、崩れ知らずの戦績からも、この世代では力上位の存在。タイトルを手にする瞬間も、そう遠くはなさそうです。

◆ 第41回帯広記念(4歳以上オープン)

1月2日(水)は重賞・帯広記念(4歳以上オープン)が行われ、単勝1番人気の

オレノココロが優勝。現役最強の力を見せつけ、カネサブラックがマークした重賞最多勝記録(21勝)に並びました。

人気は外枠の2頭、コウシュハウンカイとオレノココロに集中し、わずかにオレノココロが1番人気。離れた3番人気がフジダイビクトリーとなり、以下はふた桁台のオッズ。人気サイドでの決着か、それとも一波乱があるのか、馬場水分1.2%のなかスタートが切られました。

第1障害を越えた直後から各馬の脚取りは重く、細かく刻みながら徐々に歩を進めます。道中はフジダイビクトリー、オレノココロあたりが先行。コウシュハウンカイもこの一角につけ、ソウケンボーイ、センゴクエースがその後ろから追走する展開。ゆったりした流れで第2障害を迎えました。

終始ペースを握っていたフジダイビクトリーが、ここでも最初に登坂を開始。ひと呼吸置いてオレノココロとコウシュハウンカイが動き、ソウケンボーイも積極的に仕掛けます。高重量戦だけに苦戦を強いられませんが、ようやく各馬の馬体が天板まで上がりきり、シンザンボーイ、センゴクエース、コウシュハウンカイ、フジダイビクトリー、オレノココロの5頭が差のない状態で障害を突破しました。

最後の平坦路で敢然と抜け出したのはセンゴクエース。しっかりとした脚取りでゴールを目指しますが、シンザンボーイも懸命に食い下がり、さらに外からオレノココロも強襲。残り20メートルで3頭が横並びとなります。しかし、シンザンボーイが脱落し、残り10メートル付近からセンゴクエースとオレノココロの一騎打ち。わずかにセンゴクエースがリードを保っていましたが、脚いろは完全にオレノココロが上回っており、並んだ状態でゴール線を通過。0秒1差の大接戦の結果、軍配はオレノココロに上がりました。最後までしっかり歩いたフジダイビクトリーが3着。オレノココロと人気を分け合ったコウシュハウンカイは、しまいには伸びきれず5着に敗れました。

乾いた馬場での高重量戦となればオレノココロの出番。第2障害で一瞬ヒザを折るような場面もありましたが、慎重な登坂でうまくまとめ、持ち前の末脚を最大限に発揮しました。ゆったり運べる高重量戦なら、信頼度も倍増。ばんえい記念3連覇へ向け、視界は良好です。

今シーズンは重賞未勝利のセンゴクエースですが、ばんえい十勝オッズパーク杯、ばんえいグランプリに続く重賞2着。あわやの0秒1差だけに、力を十分に示すことができたと言えます。高重量戦に慣れてきたことから、もう一段階の飛躍が期待できそうです。

フジダイビクトリーは積極的に運んでの3着。ばんえい記念を制しているだけにパワー勝負は望むところで、今後も乾燥した馬場では要注目です。

◆ 第12回天馬賞(5歳オープン)

1月3日(木)は重賞・**天馬賞(5歳オープン)**が行われ、単勝4番人気の**メジロゴーリキ**が優勝。ばんえいダービー以来となる重賞2勝目を挙げ、完全復活を果たしました。

カネサスペシャルが出走を取り消し、9頭立て。上位は拮抗したオッズになりましたが、最終的に1番人気に推されたのは、銀河賞制覇、ドリームエイジカップでも3着に食い込んだミノルシャープ。はまなす賞勝ちのマツカゼウンカイが2番人気で、以下ゴールデンフウジン、メジロゴーリキ、ジェイワンが単勝ひと桁台で続きました。

前日の帯広記念と同様、馬場水分は1.2%でスタート。道中はメジロゴーリキ、ジェイワン、ゴールデンフウジン、ミノルシャープが先行し、これにウンカイタイショウが加わる展開。多少ばらけた隊列で進み、第2障害を迎えました。

全馬がそろいにならないうちに、ゴールデンフウジンが登坂を開始。ミノルシャープ、メジロゴーリキがこれに続き、ウンカイタイショウも動きません。なかでも力強い登坂を見せたのはメジロゴーリキで、ひと腰で障害を突破。やや遅れてミノルシャープがクリアし、並ぶような形でゴールデンフウジン、マツカゼウンカイ、ウンカイタイショウも最後の平坦路に向かいました。

ここから抜群の末脚を発揮したのがゴールデンフウジン。先頭との差を一気に詰めにかかり、残り20メートル付近で先頭に立つ勢いを見せます。ところが、やや形勢不利だったメジロゴーリキがしぶとさを見せ、残り10メートルでも先頭をキープ。手に汗を握るようなマッチレースが展開され、残り5メートルではわずかにゴールデンフウジンが先頭。ゴール線上でも、明らかにゴールデンフウジンの鼻面が前に出ている。しかし、ここでメジロゴーリキが勝負根性を発揮して盛り返し、2頭が並んだままゴール。結果0秒1差の大接戦は、メジロゴーリキがわずかに先着して幕を閉じました。2着から3秒8差の3着にはマツカゼウンカイ。1番人気のミノルシャープは残り15メートル付近で脚を止めるなど精彩を欠き、6着に敗れました。

ばんえいダービーと同様に、先行策からしぶとい粘りを見せたメジロゴーリキ。いったんは完全にかわされたものの、抜群の根性とBG1勝ちの底力を発揮して、ビッグタイトルを手に入れました。そのレースぶりからもパワー勝負が向いている印象で、年長馬が相手の重賞でも期待は高まるばかりです。

惜しかったのはゴールデンフウジン。障害を下りてからの脚は目をみはるものがあり、仮にメジロゴーリキとの枠が離れていたなら、違った結果になっていたかもしれません。結果敗れたとはいえ、これで4連続連対。ナナカマド賞勝ちの素質馬が軌道に乗ってきた印象で、さらなる飛躍が期待できそうです。

マツカゼウンカイは障害後もしっかり歩き続けて3着。先着した2頭が馬体を併せる展開になったのが、この馬にとっては不運でした。それでも大きく崩れなかったのは実力の証明。今後も展開次第でチャンスが巡ってくることでしょう。

※レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。